



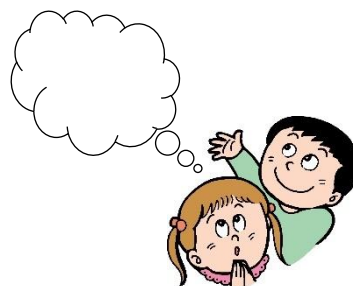
「ボランティア」って、何だろう

毎週木曜日の渕水タイムはボランティア活動の時間です。子供たちは、毎回「ボランティアカード」に「どんな理由で何をしようと思うのか」を記入してから活動を始め、活動後には出来栄を☆、◎、○、△で自己評価し、振り返りを行っています。「教室の黒板がよごれているからきれいにする」「(本棚の) ファイルがぐちゃぐちゃだからきれいに並べる」というように、校舎内の汚れている場所や乱れているところをきれいにしたり整えたりしようとする子供たちの気持ちがカードから読み取れます。中には「本棚がきれいだとみんなが気持ちよいと思うから」などと「みんなのために」という考えがはっきりと表れているものもあります。

ただ、子供たちは「ボランティア活動＝清掃」という考えが強いように感じられました。そこで、いつもどんな思いでボランティア活動に取り組んでいるのかを聞いてみました。まず、Uさんが「学校をきれいにすると、みんなが気持ちよくなるからがんばっている」と発言しました。Tさんも「教室がきれいになると気持ちがいい」と発言し、学校や教室がきれいだと自分やみんなが気持ちよく過ごせるという発言が続きました。Mさんは「自分でやろうと決めたことだと楽しく活動できる」と自分で決めたことを取り組むことの充実感を話しました。そんな中でIさんが「自分で考えても、みんなが同じ場所を清掃したらやりたいことができなくなる。それだったら場所が分担され、決められていた方がやりやすい」と一石を投じる発言をしました。これに対して「決められていたら『自分で考える』というボランティアにならない」「でもIさんの言う通り、決まっていた方がやりやすい」「そしたらみんなで話し合って決めればどうだろう」と次々と意見が出され、教室は騒然となりました。そこで、そもそも「ボランティア」とは何なのか、もう一度みんなで確認しました。国語辞典には「世の中のためになることを、自分から進んで無料で行うこと」とありました。子供たちに置き換えると「学校やみんなのためになることを、自分から進んで行うこと」となりました。

「自分から進んで」はよいとして、問題は「学校やみんなのためになること」とは何なのかです。私が「みんながどんな気持ちになること？」と問いかけると、「気持ちよくなること」「嬉しくなること」「楽しくなること」「喜ぶこと」という考えが出ました。そこでさらに「じゃあ、それは清掃することだけかな？」と投げかけました。それまで活発に発言が続いていた教室が一瞬にして静まり、みんな考え始めました。誰かが「係活動でやっているようなことかな」とつぶやきました。

どうやら「ボランティア活動＝清掃」の殻を破る一つの手がかりが見付かったようです。今後の子供たちの活動がますます楽しみになってきました。



11月の活動

ポートボール（体育科）

初めて取り組んだ「ゴール型のボールゲーム」です。チームで協力してパスをつなぎ、ゴールマンがボールをキャッチできたら得点できます。「広がって短いパスをつなぐ」「パスをしたらすぐに前へ走る」など、作戦を考えることの大切さを学習しました。



ボルダリング講習会

専門のインストラクターの方に来て頂き、ボルダリングの講習を受けました。初級・中級・上級のコースに挑戦しながら、どんなふうに次のホールドを選んでいけばいいかなどについて教えて頂きました。



持久走記録会

3年になり、走る距離が200m増えて、800mになりました。天候が悪く、思うような練習がなかなかできませんでしたが、持てる力を出して最後まで走りました。記録賞はHさんが、のびのび賞はIさんが受賞しました。おめでとうございます！

